

**建設廃棄物のリサイクルの高度化に向けた方策検討のための調査業務に係る  
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）**

項 目		内 容
1	日 時	令和8年7月6日 13時30分から15時00分まで
2	場 所	Web (Zoom)
3	出席委員	環境県民局循環型社会課長 環境県民局環境政策課長 環境県民局産業廃棄物対策課長 商工労働局環境・エネルギー産業課長 土木建築局技術企画課技術管理担当監
4	議 題	建設廃棄物のリサイクルの高度化に向けた方策検討のための調査業務の 企画提案内容の審査
5	担当部署	環境県民局循環型社会課
6	開催方法	参集（オンライン）
7	議事内容	<p>1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者を選定した。</p> <p>2 審査対象者（最優秀提案者：◎） A社 復建調査設計株式会社広島支社 B社 株式会社三菱総合研究所（◎）</p> <p>3 審査結果 （1）審査対象者の評価値 別紙のとおり （2）提案者ごとの主な評価・選定理由</p> <p><b>【A社 復建調査設計株式会社広島支社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独自の提案があるものの、業務内容自体は一般的なものであり、具体的内容に乏しい。</li> <li>・阻害要因の優先度の定量分析が提案されるなど、課題整理が期待できる。</li> <li>・対応策の検討手法が限定的であり、提案内容に不安がある。</li> <li>・類似業務の実績を多く有しており、業務を確実に遂行できる体制となっている。</li> </ul> <p><b>【B社 株式会社三菱総合研究所】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査項目や、対象ごとのヒアリング項目が明確であり、円滑な調査が期待できる。</li> <li>・仮説（課題）とアウトプットのイメージが明確であり、調査の深掘りができている。</li> <li>・建設業界全体の動向を把握可能な調査を検討している。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・コンクリート塊の新たな用途技術の調査、有識者ヒアリングを追加提案する等、活用可能な方策を広い視点で検討している。</li><li>・これまでの知見を活かし、コンクリート塊再生材の利用拡大に向けたよりよい対応策の提案が行われることが期待できる。</li><li>・委託仕様書の内容を踏まえた仮説検証として具体的な内容に踏み込んだ提案がなされている。</li></ul>
--	--